

長らく待たれていた安達均氏の按手礼牧師就任式がついに、6月26日招聘教会であるLCRで行われた。式はトランペットの奏でる荘厳な響きの中今は亡き Mr. Mark Porter の掲げ持つ金色の十字架によるプロセッションで始められました。Mr. Dennis Boren の挨拶があり、教区長 Rev. Murray Finck による均氏及びご両親と家族の紹介そして祝福の言葉に続きいよいよ按手礼の式へと進められて行きました。聖壇の中央に立たれた均氏は教区長による神様への宣誓への問いかけに一つ一つ丁寧に答えられました。教区長の前に跪かれた均氏の周りを当日出席された King of Glory の Rev. Timothy Philips, トーランスのポール中村牧師、オレンジ郡キリスト教会の杉村宰牧師、Rev. Lee Rozen, Rev. Dennis Laherty, Rev. Vanson Tran, Rev. Gordon Peterson, Rev. Karin Boye そして LCR の Rev. E. Carl Zimmermann の牧師の方々が囲まれました。それぞれの牧師の手が均氏の肩に置かれ教区長の手は均氏の頭に厳かに置かれました。厳粛な式が進められ神様の手の中に正式に安達均牧師は誕生されました。本当に嬉しい瞬間でした。その後行われた安達牧師による初の聖餐式は安達牧師の朗々とした詠唱のうちに執り行なわれ、初めて聞く均師の素晴らしい声量に約 120 の名出席者は感激いたしました。聖餐のパンと葡萄酒をいただき教区長の祝祷へと式は進みました。それに続き、全員による讃美歌 502 番 “いともかしこし” の賛美の中、教区長、安達牧師、さと子夫人を先頭に出席された牧師方々の退場により一時間半にわたる按手式礼拝は神様の恵みのうちに締めくくられました。

